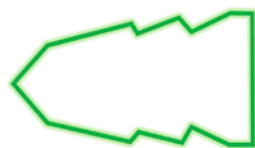
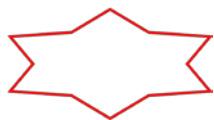
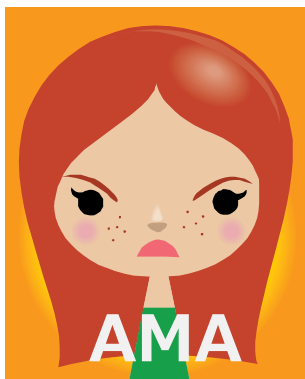


困りごと サンプルストーリー





アマちゃん

こんなことがありました



今日の主人公はココロちゃんです。
ココロちゃんは金曜日のほか後、
いつものように、アマちゃんと楽しく遊んでいたのに・・・

月曜日、ココロちゃんが、学校に来てみると、
アマちゃんに「おはよう」と声をかけた時、目が合いませんでした。
ココロちゃんはむしされたような気がしましたが、知らないうちに自分が何か
悪いことをしてしまったのではないかと考えはじめました。
いろいろ考えているうちに頭がいたくなくなってきました。

昼休みになりました。

昼休みはいつもアマちゃんと遊ぶことになっていました。
ところが、今日は気がつくともアマちゃんのすがたが教室にありません。

私は、朝からの様子を思い起こすと、**自分はきらわれたにちがいない**
と思えてきて**ぜつぼうてきな気持ち**になりました。



ココロちゃん



こんなことがありました



今日の主人公は大坂さんです。入学後、憧れていたテニス部に入り、仲間もでき先輩からもその腕前を期待されるようになりました。2年生になった時、小学校時代入っていた吹奏楽部の仲間から、クラリネットが足りないから来てくれないかと誘われました。そう言われると楽器もやりたいなと思い始め迷って仲間に相談したりしました。

そんなある日、テニス部の先輩たちがやってきて「ほかの子から聞いたけど、吹奏楽にも入ろうとしてるんだって！あんた、兼部なんかしたら、大会に出れないよっ！」と一方的に言われてしまいました。その時、大坂さんは、頭の中で、『先輩、ひどい！どうせ私の気持ちなんか、わかってくれないに違いない。』と考えて、目を合せないように下を向いて怒りを抑えました。

放課後、部活の時間になりましたが、先輩への怒りが、どんどんひどくなり、テニスボールの入った箱をトイレに投げ捨てました。





こんなことがありました . . .



今日の主人公はきみちゃんです

きみちゃんは今度の音楽祭の実行委員になりました。

張り切ったきみちゃんは、金賞を獲得するため早速練習の日程をきめました。

放課後、どのクラスもしっかり練習をしているよう
でなかなか上手な歌声が聞こえてきます。うちのク
ラスもしっかり頑張ろうとみんなに声を掛けました
が、なぜか小さな歌声です。よく見ていると、**声
を出していない男子達**がいます。困ったきみちゃんは、
その子達に大きな声で怒鳴りました。「真面目に
やってよ。」すると、その男の子達は帰り始めてし
まいました。それを見て、**皆は、いつも全員一丸と
なって練習をすべき**なのに帰ろうとするなんてと
思った途端、**怒り心頭に発し叫び出しそうになっ
てしまいました。**





こんなことがありました



三太郎くんは、今回初めてちゃんとテスト勉強をしました。だから、今までにない良い点数を親も期待していました。今回のテストは、できたかどうかその時はわかりませんでした。今日、帰りがけにテスト返しがありました。返された答案用紙を見てみると、今までで一番悪い点数でした。ボー然としてしまいました。

帰り道、点数が悪かったことばかり頭にうかんできて、帰ったらおかあちゃんに怒られるに違いないし、それを聞いて調子もんの弟はバカにしてくるに違いないと思うと、泣きたくなりました。

努力したのに良い点数を取ることができなかった僕なんて、どうせバカだから勉強しても良い成績をとるのは無理にちがいないという考えが浮かんだ途端、何もかももう嫌だという絶望的な気持ちになってしまいました。



こんなことがありました



野球は、小学校の時から練習の積み重ねでずいぶん自信もあるし、長い付き合いの仲間が多い。一方、サッカーは、サッカーで、この一年間の練習の成果でカッコよく決められるようになってきているし、リーグのテレビ試合観戦で皆と盛り上がるのが、めちゃ楽しい。どっちも良いところが有り過ぎ〜。どっちもこのままやりたいな。ああ〜、どっちを選べばいいんだろう。選べない俺ってダメな奴？何度も頭の中で、自問自答を繰り返しているうちに、いつも、俺って決めることができなかった。決められないような半端な奴はダメに違いない。半端な俺って、絶対これからもうまくやれないに違いないという考えが、頭に浮かびその途端、

何もかも嫌だという気持ちになって、机の上のものを払って、大きな声で叫びながら、わんわん泣き出してしまいました。





こんなことがありました



明後日から試験です

今度は勉強すれば100点を取れる気がしています。

学校から帰って、早速勉強しようとしていたところにLINEがきました。

久しぶりに小学校の時のともだちのはやお君からです。別の中学に行ってます。見ると

「映画の切符が2枚手に入ったんだけど、一緒に行かないか」という誘いでした。試験前で、せっかくやる気が出ているのに行きたい映画に誘われてしまいました。

涙を吞んで「試験前だから、行けない！」と断りました。

でも、そのことが頭から離れず、勉強に集中できません。



彼が、せっかく親切で誘ってくれたのに何てタイミングが悪いんだろう。そう思うと今までにも間が悪くてチャンスを逃した経験があることが次々に思いだされました。そういえば僕の人生はそんなことだらけだった。これからも僕の人生は、チャンスに見放されてい

るに違いない。そう思うと悲しくなってベッドにもぐりこんでしまいました